

【外国語・小5年・「Unit2 She can sing well.」①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 基本的な一般動詞や助動詞canを使った表現について身に付けている。
- (思・判・表) 自分のことや第三者のことをよりよく知ってもらうために、自分の意見を加えながら、その人のできること、できないこと、特技などを表現している。
- (主体態) 自分のことや第三者のことをよりよく知ってもらうために、自分の意見を加えながら、その人のできること、できないこと、特技などを表現しようとしている。

ICT活用のポイント

視覚的な面からの理解の促進と意見交換による表現力の向上を意識した授業

【つかむ】

・ALT等のできることできないことを聞き、単元の課題について把握し、見通しを持つ。

単元の課題

〇〇小の先生たちのできること、できないことを紹介し合おう

【追究する】

・できるかできないかを伝えられるようにする。
・先生に質問を考えを書く。

【まとめる】

・東小の先生たちのできること、できないことを紹介し合う。

事例の概要

- canを使った表現について、視覚的にも理解を促すため、大型提示装置にALTやJTEのできることやできないことを示しながら、話を聞かせる。
- 他の先生にできることやできないことを英語で尋ねさせ、先生方のできることやできないことを紹介する活動を行う。
- ICTを使って考えを共有させることで、様々な表現に気付かせる。

【事例におけるICT活用の場面①】

(視覚的な活用による理解の向上)
・ALTや教師のことを紹介する場面で、写真やイラストを使って、児童にわかりやすく伝える。

【事例におけるICT活用の場面②】

(意見交換の共有による表現力の向上)
・グループである題材の、答え+1文の例を発表し合い、全体で共有する。

【外国語・小5年・「Unit2 She can sing well.」②】

【事例におけるICT活用場面①】

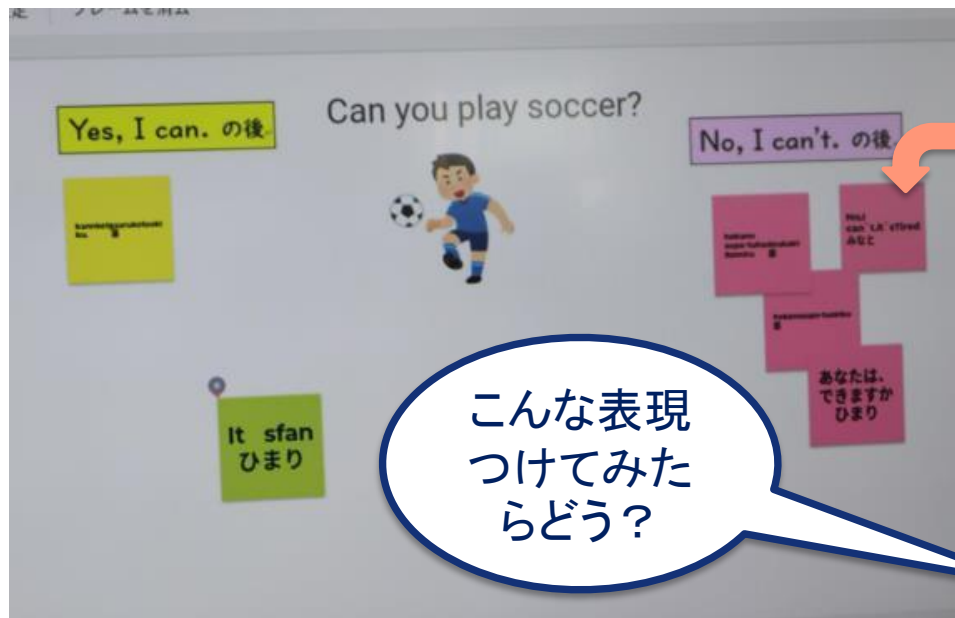


視覚的な活用による理解の向上

- つかむ過程で、教師やALTの「できることやできないこと」について紹介する場面において、単元の課題を把握し、本単元で学習する表現や語句の言い方に慣れ親しむために、写真やイラストなどをプレゼンテーションソフトにまとめたものを電子黒板に写して、児童がわかりやすいように伝えたことで、児童に単元の見通しを持たせることができた。

【この単元で使用した、ICT端末の機能】
プレゼンテーションソフト・学習支援ソフト等

【事例におけるICT活用場面②】



意見交換の共有による表現力の向上

- 追究する場面で、より会話を続けさせるための+1文を考える場面において、一人一人の考えを広げたり深めたりするために、学習支援ソフトを使用して、個人や小グループで考えたり意見交換したりしたことを学級全体で共有したことで、児童は様々な英語表現や言いたいことに気付き、表現を広げさせることができた。

